

口腔治療学（硬組織、歯髄、歯周組織疾患） （TxAD：Treatment of Active Disease）

（H29年11月2日～H30年1月31日）

コース責任者：（主）八重柏隆、佐々木大輔、熊谷章子、阿部亮輔、工藤義之、野田守
 担当講座（分野）担当 Director：歯科保存学講座（う蝕治療学分野）野田守、工藤義之
 ：歯科保存学講座（歯周療法学分野）八重柏隆、佐々木大輔
 ：口腔顎顔面再建講座（口腔外科学分野）阿部亮輔
 ：法科学講座（災害口腔医学分野）熊谷章子

第3学年 後期	講義	実習
	（保存修復学）	43.5時間
	（歯内治療学）	36時間
	（歯周病学）	39時間
	（口腔外科学）	15時間
	コースまとめ(コア歯学)	24時間
	計	157.5時間
		124.5時間

教育成果（アウトカム）（講義・実習）

口腔治療学（硬組織、歯髄、歯周組織疾患）（Treatment of Active Disease）では、口腔治療の対象となる硬組織、歯髄、歯周組織の各疾患の科学と病態、診査・診断・治療方法に至る領域を段階的に把握することで、臨床で求められる口腔治療学を総合的に学習することができる。先行する関連講義で履修内容を理解、把握し、その知識にもとづいた実習を行うことで、各ユニットを効果的に修得できる。

はじめに齲蝕の科学、病態（診査・診断）、接着、修復材料、齲蝕の治療、続いて歯内疾患の診査・診断・治療の講義・実習で修復・歯内領域を修得できる。同様に歯周病の病態と治療、診査・診断から歯周外科実習に至る講義・実習で歯周領域を、次に口腔治療で頻度の高い（難抜歯を除く）普通抜歯に関する診査・診断・治療の講義・実習で関連領域を修得できる。最後に各領域のコア歯学関連項目の演習で各自の実力を確認し、初診から高頻度歯科臨床の流れとしての口腔治療学を4年次の段階に向け効果的に修得できる。

講義、実習を終了後、口腔治療学コース試験を実施する。 （ディプロマ・ポリシー：5）

事前学修内容及び事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。

講義・実習日程 【講義：矢巾キャンパス 西1-G 講義室、実習：矢巾キャンパス 西3-E 実習室】

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月2日（木） 1限	八重柏隆教授 （歯周療法学）	TxAD コースガイ ダンス TxAD コースの要点 を理解する。	1. TxAD コースの役割・修得項目を説明できる。 2. 1口腔単位の歯周治療について説明できる。 3. コア歯学で必要な重要事項を説明できる。
11月2日（木） 2限	櫻井秀人助教 （う蝕治療学）	Cariology 病理・組織学的特徴 エナメル質齲蝕、象 牙質齲蝕、セメント 質齲蝕について説 明できるようにな る。	1. エナメル質齲蝕、象牙質齲蝕、セメント質齲蝕の発症機序、病態、進行について病理学的に説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月2日(木) 3限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	Cariology 齶蝕除去の理論 齶蝕除去の理論について説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 齶蝕歯質において除去すべき歯質を説明できる。 2. 齶蝕歯質において残すべき歯質について説明できる。 3. 急性齶蝕と慢性齶蝕における感染歯質除去理論の違いを説明できる。 4. 2種類の齶蝕検知液について説明できる。 5. 齶蝕検知液の使用方法を説明できる。 6. レーザー蛍光法による齶蝕検知について説明できる。 7. 感染歯質除去に使用する器具を説明できる。 8. 高齢者における根面う蝕を説明できる。
11月2日(木) 4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	歯の切削と歯髄保護 修復の補助法 有病者・在宅者の歯の切削 歯の切削法と切削による歯髄障害、歯髄保護、および修復の補助法について説明できるようになる。 有病者・在宅者の歯科治療について説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯の切削法を説明できる。 2. 高速切削について説明できる。 3. 歯の切削による歯髄刺激を説明できる。 4. フェザータッチについて説明できる。 5. 歯髄保護の重要性を説明できる。 6. 間接覆髄法を説明できる。 7. 歯間分離について説明できる。 8. 歯肉圧排について説明できる。 9. 仮封の目的、種類、および特徴を説明できる。 10. 切削時の有病者への配慮を説明できる。 11. 在宅医療における歯科治療について説明できる。
11月6日(月) 1限	工藤義之准教授 浅野明子講師 (う蝕治療学)	コンポジットレジン 修復総論 各種処置法 保存修復学の意義を理解し、各種修復方法について説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保存修復学の意義、手順、特徴を説明できる。 2. 修復法の種類を列挙できる。 3. インレー修復の特徴を説明できる。 4. レジン修復の特徴を説明できる。 5. セメント修復の特徴を説明できる。 6. アマルガム修復の特徴を説明できる。 7. 接着性修復と非接着性修復を説明できる。 8. 修復物の具備すべき条件を説明できる。
11月6日(月) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	窩洞分類・名称 窩洞の名称、分類について説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 窩洞の形態に関する諸条件を説明できる。 2. Black、Davisの窩洞の分類を説明できる。 3. 窩洞の名称を説明できる。
11月6日(月) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	齶蝕の観察 齶窩の開拡 罹患歯質除去 抜去天然歯の齶蝕歯質を除去できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 適切な器具で天然歯を切削することができる。 2. 抜去天然歯を用いて齶蝕歯質を適切に除去できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月7日(火) 1限	工藤義之准教授 岡田伸男講師 (う蝕治療学)	窩洞の原則 窩洞形態に関する諸条件について説明できるようになる。	1. 窩洞の形態に関する諸条件を説明できる。 2. 窩洞外形を説明できる。 3. 予防拡大を説明できる。 4. 保持形態を説明できる。 5. 抵抗形態を説明できる。 6. 便宜形態を説明できる。 7. 窩縁形態を説明できる。 8. 窩洞の清掃について説明できる。 9. メタルインレー窩洞をデザインできる。 10. 材料と窩洞形態の特徴を説明できる。
11月7日(火) 2限	工藤義之准教授 岡田伸男講師 (う蝕治療学)	歯科用セメント 歯科用セメントの基礎的物性の評価法について説明できるようになる。	1. セメントの種類、特徴および用途を説明できる。 2. セメントのJIS規格を説明できる。 3. リン酸亜鉛セメントの特徴を説明できる。 4. ポリカルボキシレートセメントの特徴を説明できる。 5. EBAセメントの特徴を説明できる。 6. レジン系セメントの特徴を説明できる。 7. その他の歯科用セメントを分類できる。 8. 着用セメントの歯髄刺激を説明できる。
11月7日(火) 3限	工藤義之准教授 長谷部智之助教 (う蝕治療学)	齶蝕以外の硬組織疾患とその治療 歯の構造と歯に生じる疾患の概要について説明できるようになる。	1. 象牙質歯髄複合体を説明できる。 2. 歯の硬組織疾患(齶蝕、咬耗症、磨耗症、アブフラクション、侵蝕症、破折、歯の着色・変色、形成不全、先天異常)の病因と病態を説明できる。 3. 歯の発育障害(エナメル質形成不全、象牙質形成不全、形態異常、斑状歯、ターナーの歯、ハッチンソンの歯、フールニエの歯)と加齢変化(咬耗、亀裂、変色、添加象牙質)の病因と病態を説明できる。 4. 歯痛の機序を説明できる。 5. 動水力学説を説明できる。
11月7日(火) 4限	工藤義之准教授 長谷部智之助教 (う蝕治療学)	高齢者・有病者の保存修復 保存修復における高齢者の特徴と有病者の修復法について説明できるようになる。	1. 高齢者の歯の特徴を説明できる。 2. 高齢者の齶蝕について説明できる。 3. 高齢者の修復法について説明できる。 4. 有病者の修復法について説明できる。
11月8日(水) 1、2限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	V級コンポジットレジン修復 シミュレーターで上顎前歯のV級コンポジットレジン修復を行うことができるようになる。	1. 上顎前歯にV級コンポジットレジン窩洞を形成することができる。 2. 必要な歯面処理を行うことができる。 3. V級コンポジットレジン充填を行うことができる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月8日(水) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	Ⅲ級コンポジット レジン修復 シミュレーターで 上顎前歯にⅢ級コ ンポジットレジン 修復を行うことが できるようになる。	1. 上顎前歯にⅢ級コンポジットレジン窩洞を 形成することができる。 2. Ⅲ級コンポジットレジン充填を行うことが できる。
11月9日(木) 1限	野田 守教授 (う蝕治療学)	接着歯学 1 歯質接着について 説明できるようにな る。	1. エナメル質に対する接着について説明でき る。 2. 象牙質に対する接着について説明できる。 3. ハイブリッド層(樹脂含浸層)について説 明できる。 4. ステップ接着システムの接着メカニズムに ついて説明できる。 5. セルフエッチング接着システムの接着メカ ニズムについて説明できる。 6. ワンボトル接着システムの接着メカニズム について説明できる。
11月9日(木) 2限	野田 守教授 (う蝕治療学)	接着歯学 2 接着性プライマー について説明でき ようになる。	1. マイクロリーケージ(微小漏洩)について 説明できる。 2. ナノリーケージについて説明できる。 3. 接着性プライマーの構造について説明でき る。 4. HEMA について説明できる。 5. 酸性プライマーについて説明できる。 6. シラノール系プライマーについて説明でき る。 7. イオウ系プライマーについて説明できる。 8. コンポジットレジンの重合収縮が窩壁適合 性に与える影響を説明できる。 9. C-factor について説明できる。
11月9日(木) 3限	野田 守教授 (う蝕治療学)	コンポジットレジ ン修復 1 コンポジットレジ ンの組成と特徴に ついて説明できる ようになる。	1. MMA 系レジンの組成と特徴を説明できる。 2. 化学重合型および光重合型コンポジットレ ジンの組成と特徴を説明できる。 3. 化学重合型および光重合型コンポジットレ ジンの重合様式を説明できる。 4. 可視光線照射器(ハロゲン照射器、LED 照 射器)について説明できる。 5. 重合深度について説明できる。 6. 材料の化学的構造を理解し図示できる。
11月9日(木) 4限	野田 守教授 (う蝕治療学)	コンポジットレジ ン修復 2 コンポジットレジ ンの組成と特徴に ついて説明できる ようになる。	1. 修復用コンポジットレジン进行分类できる。 2. フィラーについて説明できる。 3. 重合収縮について説明できる。 4. 重合深度について説明できる。 5. コンポジットレジンの歯髄刺激について説 明できる。 6. ホワイトマージンについて説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月10日(金) 1、2、3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	IV級コンポジット レジン修復(実習) 間接覆髄 シミュレーターで 上顎前歯にIV級コ ンポジットレジン 修復を行うことが できるようになる。	1. 上顎前歯にIV級コンポジットレジン充填を行うことができる。 2. 欠損部の解剖学的形態を回復することができる。 3. 間接覆髄を行うことができる。
11月13日(月) 1限	野田 守教授 (う蝕治療学)	コンポジットレジ ン修復 3 コンポジットレジ ン修復の臨床につ いて説明できるよ うになる。	1. コンポジットレジン修復の術式を説明できる。 2. コンポジットレジン修復の適応症を説明できる。 3. コンポジットレジン修復の禁忌症を説明できる。 4. コンポジットレジン修復の補助法について説明できる。
11月13日(月) 2限	野田 守教授 (う蝕治療学)	セメント修復1 グラスアイオノマ ーセメント 修復用グラスアイ オノマーセメント について説明でき るようになる。	1. 従来型、レジン添加型グラスアイオノマーセメントの硬化機序を説明できる。 2. 酒石酸の効果の説明できる 3. 感水について説明できる 4. グラスアイオノマーセメントの利点と欠点を説明できる。 5. グラスアイオノマーセメントと歯質の接着を説明できる 6. グラスアイオノマーセメントと他のセメントを比較できる。
11月13日(月) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	グラスアイオノマ ー修復(実習) シミュレーターで 上下顎前歯にグラ スアイオノマー修 復を行うことがで きるようになる。	1. III、V級窩洞にグラスアイオノマーセメントを充填することができる。
11月14日(火) 1限	野田 守教授 (う蝕治療学)	セメント修復2 グラスアイオノマ ーセメント グラスアイオノマ ーセメント修復の 臨床について説明 できるようになる。	1. グラスアイオノマー修復の術式を説明できる。 2. グラスアイオノマー修復の適応症を説明できる。 3. グラスアイオノマー修復の禁忌症を説明できる。 4. グラスアイオノマー修復とコンポジットレジン修復を比較できる。 5. 抗う蝕材料を説明できる。
11月14日(火) 2限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	先進歯科医療 歯科用レーザー、セ ラミックインレー について説明でき るようになる。	1. 歯科用レーザーの種類、特徴、用途を説明できる。 2. セラミックインレーについて説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月14日(火) 3限	大平千之講師 (補綴・インプラント学)	鑄造修復 1 鑄造修復法における印象採得からワックスアップまでできるようにする。	1. 鑄造修復の診療室および技工操作の流れを説明できる。 2. 印象法について説明できる。 3. 咬合採得について説明できる。 4. 作業模型の種類と取扱法を説明できる。 5. ワックスパターン形成法について説明できる。(溶融圧接法、軟化圧接法)
11月4日(火) 4限	大平千之講師 (補綴・インプラント学)	鑄造修復 2 鑄造修復法における埋没から技工室での調整法までの過程を説明できるようにする。	1. 埋没操作について説明できる。 2. 鑄造操作について説明できる。 3. 技工室での調整法について説明できる。 4. 研磨について説明できる。
11月15日(水) 1、2、3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	Ⅱ級コンポジットレジン修復 シミュレーターで上顎小白歯のⅡ級コンポジットレジン修復ができるようになる。	1. 上顎小白歯にⅡ級コンポジットレジン窩洞を形成することができる。 2. 天然歯の色調にあったコンポジットレジンを選択することができる。 3. Ⅱ級コンポジットレジン修復に必要な隔壁を装着することができる。
11月16日(木) 1限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	鑄造修復 3 メタルインレー メタルインレー修復について説明できるようにする。	1. 鑄造修復物の口腔内での調整法について説明できる。 2. 鑄造修復物の装着法について説明できる。 3. メタルインレー窩洞の形成理論を説明できる。 4. メタルインレー修復後の不快事項について説明できる。(脱離、体部破折、ガルバニ) 5. CAD/CAM 法との違いについて説明できる。間接修復法の変遷について説明できる。
11月16日(木) 2限	斎藤設雄講師 (医療工学)	鑄造修復 4 材料、機器の特徴 1 埋没、鑄造の理論について説明できるようにする。	1. 鑄造収縮の補正について説明できる。 2. 埋没材の種類、用途、特徴を説明できる。 3. 膨張法を説明できる。 4. 鑄型の加熱について説明できる。
11月16日(木) 3限	斎藤設雄講師 (医療工学)	鑄造修復 5 材料、機器の特徴 2 埋没、鑄造の理論について説明できるようにする。	1. 鑄造の基本を説明できる。 2. 鑄造法の種類を列挙しそれぞれの特徴を説明できる。 3. 歯科用金属について説明できる。 4. フラックスについて説明できる。 5. 酸洗いについて説明できる。
11月16日(木) 4限	斎藤設雄講師 (医療工学)	鑄造修復 6 材料、機器の特徴 3 埋没、鑄造の理論を理解について説明できるようにする。	1. 鑄造欠陥の種類を列挙できる。 2. 鑄造欠陥の特徴を説明できる。 3. 鑄造欠陥の防止法を説明できる。 4. 硬化熱処理、軟化熱処理について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月17日(金) 1、2、3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	Ⅱ級メタルインレー窩洞形成 シミュレーターで下顎大白歯にメタルインレー窩洞形成ができるようになる。	1. チャネルスライス型Ⅱ級メタルインレー窩洞を形成できる。 2. ボックス型Ⅱ級メタルインレー窩洞を形成できる。
11月20日(月) 1限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	MI (Minimal Intervention) レジンインレー修復 1 MI とレジンインレー修復の特徴と術式について説明できるようになる。	1. MI (Minimal Intervention) について説明できる。 2. 補修修復について説明できる。 3. トンネル修復について説明できる。 4. レジンインレー修復の術式、特徴を説明できる。 5. レジンインレーの窩洞形成について説明できる。 6. クレビスについて説明できる。
11月20日(月) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	レジンインレー修復 2 レジンインレー修復の特徴と術式について説明できるようになる。	1. コンポジットレジン修復とレジンインレー修復について比較、説明できる。 2. レジンコーティング法について説明で得る。 3. レジンセメントの種類を列挙できる。 4. レジンセメントの特徴を説明できる。 5. レジンセメントの用途を説明できる。
11月20日(月) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	高齢者・有病者の歯科治療実習① 高齢者を想定したシミュレーターにV級修復ができるようになる。 開口制限のある患者を想定したシミュレーターにI級修復ができるようになる。	1. 高齢者を想定したシミュレーターのV級修復ができる。 2. 開口制限のある患者を想定したシミュレーターにI級修復ができる
11月21日(火) 1限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	変色歯、着色歯、歯の漂白 変色歯、着色歯、歯の漂白の特徴と術式について説明できるようになる。	1. 変色歯の原因と分類を説明できる。 2. 歯の漂白法の特徴を説明できる。 3. ホームブリーチについて説明できる。 4. オフィスブリーチについて説明できる。 5. ラミネートベニア修復について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月21日(火) 2、3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学) 大平千之講師 (補綴・インプラント学)	鑄造修復① 印象採得 咬合採得、模型作製 シミュレーターで印象採得、咬合採得、模型作製を行うことができるようになる。	1. 精密印象採得および対合歯の印象採得を行うことができる。 2. 咬合採得を行うことができる。 3. レジン系仮封材を扱うことができる。 4. 模型材の種類と用途を理解したうえで、模型を作製することができる。
11月22日(水) 1、2、3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学) 大平千之講師 (補綴・インプラント学)	鑄造修復② ワックスアップ 模型上でメタルインレーのワックスアップを行うことができるようになる。	1. 適切にワックスを扱うことができる。 2. 適切な蠟原型を作製することができる。
11月24日(金) 1、2限	野田 守教授 岡田伸男講師 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	中間試験	これまでに学んだことを規定時間内に説明できる。
11月24日(金) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	実習試験 与えられた臨床課題をシミュレーターで実施できるようになる。	1. 与えられた課題を時間内に達成できる。
11月27日(月) 1限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(概論) 歯内療法の定義、意義、目的について説明できるようになる。	1. 歯内療法学の目的を説明できる。 2. 硬組織を介した感染経路を説明できる。
11月27日(月) 2限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(覆髄法および象牙質知覚過敏症の病態と治療) 覆髄処置(歯髄保存療法)を理解する。 象牙質知覚過敏症の病態と治療について説明できるようになる。	1. 歯髄に分布する神経を説明できる。 2. 痛みの伝導路を説明できる。 3. 動水力学説を説明できる。 4. 象牙質知覚過敏の病態を説明できる 5. 象牙質知覚過敏の処置を説明できる。 6. 覆髄処置(歯髄保存療法)を説明できる。 7. 象牙質知覚過敏症の病態と治療を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月27日(月) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	根管治療に必要な 各種材料の取扱い 根管治療に必要な 各種材料を取り扱 うことができるよ うになる。	1. 仮封用セメントを練和することができる。 2. ラバーダム防湿を行うことができる。 3. ブローチ綿栓を巻くことができる。
11月28日(火) 1限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(歯髄疾 患の分類と病態) 各種歯髄疾患の分 類と病態について 説明できるよう になる。	1. 炎症の病態を説明できる。 2. 歯髄腔の解剖学的特徴を説明できる。 3. 歯髄腔における炎症性変化の特徴を説明できる。 4. 歯髄における加齢変化を説明できる。 5. 病名・病態の用語を理解して英語で表記できる。
11月28日(火) 2限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(歯髄疾 患の分類と病態) 各種歯髄疾患の分 類と病態について 説明できるよう になる。	1. 炎症の病態を説明できる。 2. 歯髄腔の解剖学的特徴を説明できる。 3. 歯髄腔における炎症性変化の特徴を説明できる。 4. 歯髄における加齢変化を説明できる。 5. 病名・病態の用語を理解して英語で表記できる。
11月28日(火) 3限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(歯髄疾 患の病因・診査) 各種歯髄疾患の病 因と診査方法につ いて説明できるよ うになる。	1. 歯髄充血を説明できる。 2. 可逆性歯髄炎を説明できる。 3. 不可逆性歯髄炎を説明できる。 4. 慢性歯髄炎を説明できる。
11月28日(火) 4限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	歯内療法学(最新の 歯内療法) 最新の歯内療法に ついて説明できる ようになる。	1. 歯内療法におけるマイクロスコープの有用性を説明できる。
11月29日(水) 1限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(根尖性 歯周組織疾患の分 類と病態) 各種根尖性歯周組 織疾患の分類と病 態について説明で きるようになる。	1. 根尖周囲の免疫機構を説明できる。 2. 急性根尖性歯周炎を分類できる。 3. 各種根尖性歯周組織疾患の分類と病態を説明できる。
11月29日(水) 2限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(根尖性 歯周組織疾患の病 因・診査) 各種根尖性歯周組 織疾患の病因と診 査方法について説 明できるようにな る。	1. 急性根尖性歯周炎歯根膜期を説明できる。 2. 急性根尖性歯周炎骨内期を説明できる。 3. 急性根尖性歯周炎骨膜下期を説明できる。 4. 急性根尖性歯周炎粘膜下期を説明できる。 5. 病名・病態の用語を理解して英語で表記できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月29日(水) 3、4限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(歯髄炎、根尖性歯周組織疾患の総合的診断) 歯髄炎、根尖性歯周組織疾患の病因と診査方法について説明できるようになる。	1. 歯髄炎と根尖性歯周疾患を鑑別できる。 2. 提示された症例を通じて歯内疾患を診断できる。 3. 提示された症例に対して適切な処置法を説明できる。 4. 処置に必要な器具とその使用方法を説明できる。
11月30日(木) 1限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	歯内療法学(抜髄・感染根管治療の基本術式－根管拡大) 抜髄・感染根管治療の基本術式(標準拡大法)について説明できるようになる。	1. 歯髄診断に用いる器具および使用方法を説明できる。 2. 麻酔抜髄法の術式を説明できる。 3. 防湿法を説明できる。 4. 麻酔抜髄に用いる器具を用意できる。 5. 到達窩洞について説明できる。 6. 上部根管形成を説明できる。 7. 根管長・作業長を説明できる。 8. 根管拡大・根管形成を説明できる。 9. アピカルシートを説明できる。 10. 歯髄・感染根管治療の基本術式(標準拡大法)を説明できる。
11月30日(木) 2限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	歯内療法学(抜髄・感染根管治療の基本術式－根管拡大) 種々の根管拡大法、拡大補助法について説明できるようになる。	1. クラウンダウン法について説明できる。 2. ステップバック法について説明できる。 3. ウォッチワインディング法について説明できる。 4. 彎曲根管の拡大法について説明できる。 5. プレカーブテクニックについて説明できる。 6. アンチカーバチャーテクニックについて説明できる。
11月30日(木) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	根管治療に必要な基本手技(実習) 根管拡大 根管洗浄 貼薬 仮封 根管模型で根管拡大ができるようになる。	1. 根管模型で根管拡大を行うことができる。 2. 適切な器具の操作を行うことができる。 3. 根管拡大の基準を説明できる。 4. 根管貼薬を行うことができる。 5. 根管洗浄、乾燥を行うことができる。 6. 仮封を行うことができる。
12月1日(金) 1、2、3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	上顎前歯の根管治療(実習)① 髓腔開拓から貼薬仮封まで シミュレーター実習で上顎前歯の根管治療を治療手技に沿って行うことができるようになる。	1. 根管治療の術式を説明できる。 2. 上顎前歯の髓腔開拓を行うことができる。 3. 作業長を決定することができる。 4. 作業長で根管拡大を行うことができる。 5. 根管洗浄、乾燥、貼薬仮封を行うことができる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
12月4日(月) 1限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	歯内療法学(抜髄・ 感染根管治療の基本術式－根管洗 浄－) 抜髄・感染根管治療 の基本術式(根管洗 浄)について説明で きるようになる。	1. 感染根管治療の基本術式を説明できる。 2. 感染根管治療に用いる道具を用意できる。 (根管洗浄) 3. 根管の無菌化を説明できる。 4. 根管洗浄を説明できる。 5. 根管貼薬を説明できる。 6. 仮封を説明できる。
12月4日(月) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(抜髄・ 感染根管治療の基本術式－根管充 填－) 抜髄・感染根管治療 の基本術式(側方加 圧根管充填)につい て説明できるよう になる。	1. 根管充填の目的を説明できる。 2. 根管充填が可能な条件を説明できる。 3. 側方加圧根管充填に使用する器具・薬剤を 説明できる。 4. 側方加圧根管充填の術式について説明でき る。
12月4日(月) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	上顎前歯の根管治 療② 根管充填 シミュレーター実 習で根管充填がで きるようになる。	1. 根管充填を行うことができる条件を説明で きる。 2. マスターポイント試適を行うことができ る。 3. シーラーを練和できる。 4. 根管充填を行うことができる。
12月5日(火) 1、2限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	上顎前歯の根管治 療③ 再根管治療 シミュレーターで 再根管治療を实施 できるようになる。	1. 充填されている根管充填材を除去するこ とができる。 2. 再根管治療が必要な病態を説明できる。
12月5日(火) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	急性期の対応 (実習) J-開放療法 Weizer 仮封 シミュレーターで 開放療法を实施で きるようになる。	1. 急性症状を有する歯への対応を説明でき る。 2. 開放療法を实施できる。 3. 通気性仮封を实施できる。
12月6日(水) 1限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(抜髄・ 感染根管治療の基本術式－根管充 填、予後－) 抜髄・感染根管治療 の基本術式(その他 の根管充填と予後) について説明でき るようになる。	1. 垂直加圧根管充填に使用する器具・薬剤を 説明できる。 2. 垂直根管充填の術式について説明できる。 3. オブチュレーションテクニックについ て説明出来る。 4. 根管充填後の治癒機転を説明できる。 5. コロナルリーケージについて説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
12月6日(水) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(根未完成歯・外傷歯の歯内療法) 根未完成歯・外傷歯の歯内療法の基本術式について説明できるようになる。	1. 根未完成歯の歯内療法の目的を説明できる。 2. アペキソグネーシスについて説明できる。 3. アペキシフィケーションについて説明できる。 4. 歯冠破折歯の分類、術式を説明できる。 5. 内部吸収について説明できる。 外部吸収について説明できる。
12月6日(水) 3限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	歯内療法学(抜髄・感染根管治療の偶発症と対策) 抜髄・感染根管治療の偶発症と対策について説明できるようになる。	1. 歯内療法における偶発症を説明できる。 2. 偶発症への対処法を説明できる。 3. 有病者における歯内処置で配慮すべき点を説明できる。 4. 抜髄・感染根管治療の偶発症と対策を説明できる。
12月6日(水) 4限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	歯内療法学(外科的歯内療法) 外科的歯内療法の術式・適応症について説明できるようになる。	1. 外科的歯内療法の術式・適応症を説明できる。 2. 外科的歯内療法に用いる器具を用意できる。
12月7日(木) 1、2、3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	マイクロスコープを使用した根管治療(内丸にて実習) シミュレーター実習でマイクロスコープを用いて根管治療ができるようになる。	1. マイクロスコープの調整を行うことができる。 2. マイクロスコープで根管を観察できる。 3. マイクロスコープを使用して根管治療を行うことができる。
12月8日(金) 1、2限	野田 守教授 (う蝕治療学)	臨床ケースから学ぶ 提示症例に対して全身的背景も考慮した上での的確な歯髄診断、治療法の選択、治療に用いる器具を用意できるようになる。	1. 提示された症例に対して、全身的背景も考慮して的確な歯髄診断ができる。 2. 的確な治療法の選択を説明できる。 3. 治療に用いる器具を用意できる。
12月8日(金) 3、4限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	臨床ケースから学ぶ(高齢者、有病者) 提示症例に対して全身的背景も考慮した上での的確な歯髄診断、治療法の選択、治療に用いる器具を用意できるようになる。	1. 提示された症例に対して、全身的背景も考慮して的確な歯髄診断ができる。 2. 的確な治療法の選択を説明できる。 3. 治療に用いる器具を用意できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
12月11日(月) 1、2限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	Ni-Ti ファイルを使用した根管治療 シミュレーターでNi-Ti ファイルを用いて根管拡大ができるようになる。	1. Ni-Ti ファイルの使用法を説明できる。 2. 手用 Ni-Ti ファイルを使用して根管拡大ができる。 3. Ni-Ti ローターファイルを使用して根管拡大を行うことができる。
12月11日(月) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	高齢者・有病者の歯科治療実習② PBL 形式で高齢者や有病者の歯科治療における注意点について説明できるようになる。	1. 若年者と高齢者の口腔内の違いを説明できる。 2. 有病者の歯科治療時の注意点を説明できる。 3. 周術期の口腔管理について説明できる。
12月12日(火) 1、2限	野田 守教授 岡田伸男講師 長谷部智之助教 櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	歯内療法学(中間試験)(筆記) 歯内療法学についての理解を問う。	1. 歯内療法学の基礎的問題ができる。
12月12日(火) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 岡田伸男講師 志賀華絵助教 長谷部智之助教 (う蝕治療学)	歯内療法学基礎実習(実技試験) シミュレーターにラバーダム防湿を規定時間内に装着できるようになる。	1. 規定時間内にラバーダム防湿を実施できる。
12月13日(水) 1限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周病の基礎知識、リスクファクター 歯周病の基礎知識とリスクファクターを理解できる。	1. 歯周病の基礎知識を説明できる。 2. 歯周病リスクファクターを説明できる。 3. コア歯学で修得必要な項目を説明できる。
12月13日(水) 2限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周病の診査・診断 歯周病の診査・診断を理解できる。	1. 歯周病の診査・診断を説明できる。 2. 歯周病診査に必要な器具を列挙できる。 3. 歯周病の診断の臨床的意義を説明できる。
12月13日(水) 3限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周基本治療(概要・咬合) 診査・診断、治療計画、歯周基本治療、咬合の基本を理解できる。	1. 歯周疾患の診査・診断、治療方針および治療計画の流れを説明できる。 2. 説明と同意の重要性を説明できる。 3. 治療計画立案の必要項目を列挙できる。 4. 咬合の基本事項について説明できる。
12月13日(水) 4限	伊東俊太郎助教 (歯周療法学)	歯周基本治療(咬合調整・暫間固定他) 外傷性咬合と咬合調整・暫間固定を理解できる。	1. 外傷性咬合と咬合性外傷について説明できる。 2. 咬合性外傷の症状について説明できる。 3. プラキシズムについて説明できる。 4. 咬合調整について説明できる。 5. 暫間固定について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
12月14日(木) 1限	石河太知助教 (分子微生物学)	歯周病の細菌学 歯周疾患と細菌(感染と免疫)について理解できる。	1. 口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。 2. 歯周疾患の症状を細胞レベル、分子生物学的レベルで説明できる。 3. 歯周病における感染と免疫について説明できる。
12月14日(木) 2限	村井 治助教 (歯周療法学)	歯周基本治療 応急処置、モチベーション、プラークコントロール他について理解できる。	1. 歯周疾患の急性症状の診断・応急処置について説明できる。 2. 歯周治療に必要なモチベーションについて説明できる。 3. 歯周治療に必要なブラッシング法の種類と特徴を列挙して説明できる。
12月14日(木) 3限	村井 治助教 (歯周療法学)	歯周基本治療 SRP、スケーラーおよび PMTC を理解できる。	1. 歯周治療に必要な SRP を説明できる。 2. 歯周治療に用いるスケーラーを説明できる。 3. PMTC を説明できる。
12月14日(木) 4限	村井 治助教 (歯周療法学)	診査と説明・指導 診査結果と病状説明、口腔清掃指導を理解できる。	1. 診査結果を説明できる。 2. 病状説明のポイントを説明できる。 3. 適切なプラークコントロール方法を説明できる。
12月15日(金) 1限	大川義人 非常勤講師 (歯周療法学)	根分岐部病変と歯内-歯周病変 根分岐部病変と歯内-歯周病変を理解できる。	1. 根分岐部病変の分類(Glickman・Lindhe)を説明できる。 2. 歯根の保存・除去療法について説明できる。 3. 歯内-歯周疾患の成因と治療方法を説明できる。
12月15日(金) 2限	大川義人 非常勤講師 (歯周療法学)	高齢者の歯周病、予防管理、特発病変への対応 高齢者の歯周病、予防管理、特発病変への対応を理解できる。	1. 高齢者の歯周病を説明できる。 2. 歯周病の予防管理を説明できる。 3. 特発病変への対応を説明できる。
12月15日(金) 3限	村井 治助教 (歯周療法学)	歯周病の疫学 歯周病の疫学について理解できる。	1. 歯周病の疫学について説明できる。 2. 歯周病に影響する要因を説明できる。 3. 歯周疾患の分類について説明できる。
12月15日(金) 4限	村井 治助教 (歯周療法学)	ペリオドンタルメディシン ペリオドンタルメディシンおよび高齢者(有病者)の歯周病・注意点を理解できる。	1. ペリオドンタルメディシン、歯周病と関係する疾患(糖尿病および循環器疾患等)との関連性を説明できる。 2. 高齢者(有病者)の歯周病の特徴と治療時の注意点を説明できる。 3. 全身疾患を有する者の歯周病治療について(症例で)説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
12月18日(月) 1, 2限	八重柏隆教授 佐々木大輔講師 村井 治助教 伊東俊太郎助教 滝沢尚希助教 (歯周療法学)	歯周組織の診査・歯周疾患の説明(実習) 診査・歯周疾患の説明について理解できる。	1. 検査結果を用いて歯周病患者に対する歯周病の病状を適切に説明できる。 2. ブラッシング法の種類と特徴を列挙し説明できる。 3. 歯周組織の診査項目および必要な診査器具を列挙し、説明できる。
12月18日(月) 3, 4限	八重柏隆教授 佐々木大輔講師 村井 治助教 伊東俊太郎助教 滝沢尚希助教 (歯周療法学)	SRP(模型実習)(実習) SRPを適切に実施できる。	1. SRPに用いる器具を選択できる。 2. SRP(ポジショニング含む)ができる。 3. 安全・感染予防の配慮ができる。 4. スケーラーのシャープニングができる。
12月19日(火) 1限	佐々木大輔講師 (歯周療法学)	歯周外科1(基本) 歯周外科の基本を理解できる。	1. 各歯周外科の適応(特に骨縁下ポケット症例)、歯周外科の基本、歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。 2. フラップ手術の流れ・術式を説明できる。 3. 各歯周外科に用いる器具と材料を説明できる。
12月19日(火) 2限	佐々木大輔講師 (歯周療法学)	歯周外科2(再生療法他) 歯周組織再生療法を理解できる。	1. 歯周組織再生療法の種類と適応症を説明できる。 2. 歯周組織再生療法の術式を説明できる。 3. 歯周組織再生療法に用いる材料を説明できる。
12月19日(火) 3限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周外科3(基本) 歯周ポケット搔爬術、新付着術、歯肉切除術を理解できる。	1. 骨縁上ポケットに適応する歯周外科手術を説明できる。 2. フラップ手術との違いを説明できる。 3. 組織付着療法、切除療法について説明できる。
12月19日(火) 4限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周外科4(歯周形成外科他) 歯周形成外科手術を理解できる。	1. 歯周形成外科の種類と適応症を説明できる。 2. 歯周形成外科の流れ・術式を説明できる。 3. 歯周形成外科に用いる器具を説明できる。
12月20日(水) 1, 2限	八重柏隆教授 佐々木大輔講師 村井 治助教 伊東俊太郎助教 滝沢尚希助教 (歯周療法学)	歯周外科基本手技実習①(切開、縫合、模型使用)(実習) 歯周外科の基本作業を実習できる。	1. 歯周外科の基本作業(各種切開方法他)を模型実習できる。 2. 縫合の種類を列挙し模型で縫合できる。 3. 模型で歯肉弁を作成しメス、持針器を扱うことができる。
12月20日(水) 3, 4限	八重柏隆教授 佐々木大輔講師 村井 治助教 伊東俊太郎助教 (歯周療法学)	歯周外科基本手技実習②(フラップ手術、ルートリセクション、ヘミセクション)(実習) 歯周外科の基本術式を実習できる。	1. フラップ手術を模型実習できる。 2. 歯根分離術を模型実習できる。 3. 歯根切除術を模型実習できる。 4. 歯周外科処置を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
12月21日(木) 1限	佐々木大輔講師 (歯周療法学)	歯周外科の要点および全身疾患を有する患者の治療(症例報告) 歯周外科の要点・歯周病治療症例を理解する。	1. 歯周外科の要点を説明できる。 2. 糖尿病等の全身疾患を有する患者に歯周治療を実施することにより実際に病状が改善することを症例から理解できる。
12月21日(木) 2限	八重柏隆教授 (歯周療法学) 佐藤和朗教授 (歯科矯正学)	口腔機能回復治療(歯周・矯正他) 口腔機能回復治療を理解できる。	1. 口腔機能回復治療について説明できる。 2. 歯周-矯正治療について説明できる。 3. 歯周疾患患者の歯周補綴(永久固定)・インプラント治療について説明できる。
12月21日(木) 3限	滝沢尚希助教 (歯周療法学)	抜歯の基準、再評価、メンテナンス、SPT 抜歯の基準、再評価、メンテナンス、SPTを理解する。	1. 抜歯の基準を説明できる。 2. 再評価の意義を説明できる。 3. 定期管理(メンテナンスとSPT)を説明できる。
12月21日(木) 4限	滝沢尚希助教 (歯周療法学)	特殊な歯周病と薬物療法、レーザー治療 特殊な歯周病と薬物療法、レーザー治療を理解する。	1. 特殊な歯周病(壊死性潰瘍性歯肉炎、薬物性歯肉増殖症、歯肉線維腫症、Down症候群、Papillon-Lefèvre症候群等)を説明できる。 2. 歯周領域の薬物療法(局所薬物配送システム他)を説明できる。 3. 歯周領域のレーザー治療を説明できる。
12月22日(金) 1、2、3、4限	八重柏隆教授 佐々木大輔講師 村井 治助教 伊東俊太郎助教 (歯周療法学)	歯周外科の実際(歯周外科実習:豚顎使用)(実習) 豚顎を使用して歯周外科の基本を実習できる。	1. 各種切開法を豚顎で実習できる。 2. 歯肉の全層弁・部分層弁を豚顎で実習できる。 3. 各種縫合法を豚顎で実習できる。 4. メス、持針器、縫合針の扱いを豚顎で実習できる。 5. 歯周外科の基本を豚顎で実習できる。
1月4日(木) 1限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周講義まとめ 歯周講義内容の要点を理解する。	1. 歯周病学の要点を説明できる。
1月4日(木) 2限	澤田俊輔 非常勤講師 (歯周療法学)	特別講義 海外留学、医科大学における歯科、歯周病学(大学院教育含む)を理解する。	1. 留学・グローバル化について説明できる。 2. 医科との連携の実情を説明できる。 3. 最新の歯周病学(大学院教育含む)修得で得られることを理解できる。
1月4日(木) 3限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周演習 歯周領域の重要事項をDESSで演習する。(演習器材PC, Tablet等持参要)。	1. 歯周領域重要事項を実際に演習できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
1月4日(木) 4限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周演習解説 歯周演習の要点を 理解する	1. 歯周領域の重要事項を説明できる
1月5日(金) 1限	八重柏隆教授 佐々木大輔講師 村井 治助教 伊東俊太郎助教 滝沢尚希助教 (歯周療法学)	歯周病患者のエッ クス線読影 (実習) 歯周病患者のエッ クス線像を読影で きる。	1. 歯周病患者のエックス線像の特徴・解決を 要する問題点等を列挙して読影できる。 2. 咬合性外傷と根分岐部病変のエックス線像 について説明できる。 3. 歯周病による骨吸収ラインを示して説明で きる。
1月5日(金) 2限	八重柏隆教授 佐々木大輔講師 村井 治助教 伊東俊太郎助教 滝沢尚希助教 (歯周療法学)	咬合調整 (実習) 模型で咬合調整が できる。	1. 咬合を診査して咬合干渉部、早期接触部を 特定できる。 2. 咬合調整の方法を説明できる。 3. 適切な削合により咬合調整できる。
1月5日(金) 3、4限	八重柏隆教授 佐々木大輔講師 村井 治助教 伊東俊太郎助教 滝沢尚希助教 (歯周療法学)	咬合調整、暫間固定 と PMTC (実習) 暫間固定と PMTC ができる。	1. 適切な削合により咬合調整できる。 2. A-splint ができる。 3. ダイレクトボンディング固定できる。 4. PMTC を模型で実施できる。
1月9日(火) 3限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	筆記試験(中間試 験)	1. これまでに学んだ要点を規定時間内に記述 できる。
1月9日(火) 4限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	中間試験の解説講 義 中間試験内容につ いて理解できる。	1. これまでに学んだ要点を規定時間内に説明 できる。
1月10日(水) 1, 2限	八重柏隆教授 佐々木大輔講師 村井 治助教 伊東俊太郎助教 滝沢尚希助教 (歯周療法学)	実習試験(病状説 明)	1. 歯周病の病状の説明を適切にできる。 2. ブラッシング方法の説明を適切にできる。
1月10日(水) 3、4限	八重柏隆教授 佐々木大輔講師 村井 治助教 伊東俊太郎助教 滝沢尚希助教 (歯周療法学)	実習試験(SRP)	1. スケーリング・ルートプレーニングに用い る器具を選択できる。 2. スケーリング・ルートプレーニングを適切 に実施できる(適切なポジショニングを含 む)。 3. 医療安全・感染予防に配慮した SRP が実施 できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
1月11日(木) 1限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学) 阿部亮輔助教 (口腔外科学)	口腔外科学 小試験 —口腔外科の医療面接と診察法— 解剖・生理学的知識を再確認することで、口腔外科領域の医療面接・診察法の意義を理解する。	1. 医療面接で収集すべき情報を説明できる。 2. 医療面接で留意すべきことを説明できる。 3. 診察法の種類を説明できる。 4. 視診・触診の項目を説明できる。
1月11日(木) 2限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学) 阿部亮輔助教 (口腔外科学)	口腔外科学 小試験解説 一般歯科診療における口腔外科領域の医療面接・診察法を理解することで、適切な頭頸部診察技能を習得する。	1. 医療面接の重要性について説明できる。 2. 医療面接法について説明できる。 3. 医療面接でのコミュニケーションの重要性を説明できる。 4. 基本的な診察法の概略を説明できる。
1月11日(木) 3、4限	山田浩之教授 宮本郁也准教授 飯島 伸助教 野宮孝之助教 古城慎太郎助教 阿部亮輔助教 大橋祐生助教 山谷元気助教 小野寺 慧助教 高橋美香子助教 (口腔外科学) 熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	医療面接と口腔・頭頸部の診察(実習) 口腔外科における医療面接と口腔・顔面・頸部の診察に関する知識、技能、態度を習得し実践できる。	1. 診察の環境を整えることができる。 2. 適切なコミュニケーションをとりながら診察することができる。 3. 患者に配慮した診察を実施できる。 4. 頭頸部の診察の手順を説明できる。 5. 口腔の診察を実施できる。 6. 頭頸部の診察を実施できる。 7. 診察結果をカルテに記載できる。 8. 診察結果を患者に説明できる。
1月15日(月) 1限	山谷元気助教 (口腔外科学)	無菌処置 消毒法と無菌処置、術後の創処置について理解することで、清潔・不潔に配慮した診療を実践する知識と態度を習得する。	1. 手指の消毒法を説明できる。 2. 手術野の消毒法を説明できる。 3. 創の処置法(創の洗浄、消毒)を説明できる。 4. 手術後感染について説明できる。
1月15日(月) 2限	山谷元気助教 (口腔外科学)	普通抜歯 1 抜歯を実施するために必要な知識を習得することで、適切で安全な治療法を理解する。	1. 抜歯に必要な器具の用法と手技を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
1月15日(月) 3、4限	山田浩之教授 宮本郁也准教授 飯島 伸助教 野宮孝之助教 古城慎太郎助教 阿部亮輔助教 大橋祐生助教 山谷元気助教 小野寺 慧助教 高橋美香子助教 (口腔外科学) 熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	手洗い 普通抜歯 1(実習) 外科手術における手指の消毒に関する知識、技能、態度を習得し実践できる。 普通抜歯に関する知識、技能、態度を習得し実践できる	1. 手術前の手洗いが適切に実施できる。 2. 普通抜歯に必要な器具を準備できる。 3. 普通抜歯に使用する器具の使い方を説明できる。 4. 抜歯鉗子の種類を区別できる。 5. 抜歯に必要な器具、材料を清潔操作で準備できる。
1月16日(火) 1限	山田浩之教授 (口腔外科学)	普通抜歯 2 切開、縫合、止血 切開、縫合、止血に用いる器具と方法について理解することで、適切で安全な治療技能を習得する。	1. メスの種類と特徴を説明できる。 2. 切開方法の指標について説明できる。 3. 縫合法を列挙し説明できる。 4. 縫合に必要な器材を説明できる。 5. 止血法を列挙し説明できる。 6. 止血に用いる器材を説明できる。
1月16日(火) 2限	山田浩之教授 (口腔外科学)	抜歯の禁忌症 抜歯と全身疾患 抜歯と全身疾患とのかかわりを理解することで、安全に治療が行える知識を習得する。	1. 抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。 2. 抜歯を行う際に注意を要する全身疾患を説明できる。
1月16日(火) 3、4限	山田浩之教授 宮本郁也准教授 飯島 伸助教 野宮孝之助教 古城慎太郎助教 阿部亮輔助教 大橋祐生助教 山谷元気助教 小野寺 慧助教 高橋美香子助教 (口腔外科学) 熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	普通抜歯 2 縫合・抜糸(実習) 普通抜歯に関する知識、技能、態度を習得し実践できる。 縫合、抜糸に関する知識、技能、態度を習得し実践できる。	1. 抜歯操作を行う環境を整えることができる。 2. 抜歯操作が適切にできる。 3. 縫合、抜糸に必要な器具、材料を準備できる。 4. 手指縫合が実施できる。 5. 抜糸が適切にできる。
1月18日(木) 1限	飯島 伸助教 (口腔外科学)	抜歯窩の治癒 抜歯後の治癒過程を理解することで、適切な抜歯後の対応ができる。	1. 抜歯の正常治癒経過を説明できる。 2. 抜歯の異常治癒過程とその対処法を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
1月18日(木) 2限	飯島 伸助教 (口腔外科学)	抜歯の偶発症 抜歯の偶発症を解剖学的知識と合わせて理解することで、偶発症や合併症に適切な対応ができる。	1. 抜歯の偶発症と合併症およびその対処法を説明できる。
1月19日(金) 1限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学) 阿部亮輔助教 (口腔外科学)	筆記試験(中間試験)	1. これまでに学んだことを規定時間内に説明できる。
1月19日(金) 2限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学) 阿部亮輔助教 (口腔外科学)	中間試験の解説講義 中間試験内容について理解できる。	1. これまでに学んだことを規定時間内に説明できる。
1月19日(金) 3、4限	山田浩之教授 宮本郁也准教授 飯島 伸助教 野宮孝之助教 古城慎太郎助教 阿部亮輔助教 大橋祐生助教 山谷元気助教 小野寺 慧助教 高橋美香子助教 (口腔外科学) 熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	実習試験 (医療面接・診察・手洗い・抜歯・縫合)	
1月22日(月) 1、2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	修復領域(コア歯学関連) 修復領域コア歯学関連項目について理解する。	1. 修復領域のコア歯学重要項目について説明できる。
1月22日(月) 3、4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	修復領域(コア歯学関連) 修復領域コア歯学関連項目について演習する。	1. 修復領域のコア歯学重要項目について演習によって理解できる。
1月23日(火) 1、2限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯内領域(コア歯学関連) 歯内領域コア歯学関連項目について理解する。	1. 歯内領域のコア歯学重要項目について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
1月23日(火) 3、4限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯内領域(コア歯学 関連) 歯内領域コア歯学 関連項目について 演習する。	1. 歯内領域のコア歯学重要項目について演習 によって理解できる。
1月24日(水) 1、2限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周領域(コア歯学 関連) 歯周領域コア歯学 関連項目について 理解する。	1. 歯周領域のコア歯学重要項目について説明 できる。
1月24日(水) 3、4限	佐々木大輔講師 (歯周療法学)	歯周領域(コア歯学 関連) 歯周領域コア歯学 関連項目について 演習する。	1. 歯周領域を演習によって理解できる。 2. 一定時間内に関連の質問に解答できる。 3. 解説で演習内容をより深く理解できる。
1月25日(木) 1、2限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔 医学) 阿部亮輔助教 (口腔外科学)	口腔外科領域の理 解 口腔外科領域コア 歯学関連項目を理 解する。	1. 口腔外科領域のコア歯学重要項目を理解 できる。
1月25日(木) 3、4限*	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔 医学) 阿部亮輔助教 (口腔外科学)	口腔外科領域の演 習・解説* 口腔外科領域コア 歯学関連項目の演 習・解説で理解す ること、次年度の学 習に備える。	1. 口腔外科領域のコア歯学重要項目を演習に よって理解できる。
1月29日(月) 1、2、3、4限		TxAD 補講(予備) あるいは自主学習 (出席確認無し)	

(* : コースアンケート実施)

コース最終試験

月 日	担当者		
1月30日(火) 1、2、3、4限	(TxAD) ディレクター	コース最終試験①② (筆記)	
1月31日(水) 1、2、3、4限	(TxAD) ディレクター	コース最終試験③ (口頭試験)	試験会場：矢巾キャンパス東研究等1階 SGL 教室 3~8

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書名	著者氏名	発行所	発行年
教	保存修復学 21 5 版	阿南壽ほか編	永末書店	2017 年
教	保存修復学 6 版	千田彰ほか編	医歯薬出版	2013 年
教	保存修復クリニカルガイド 2 版	千田彰ほか編	医歯薬出版	2009 年
参	接着性コンポジットレジン修復の基礎と臨床 (「日本歯科評論」特別号)	山田敏元ほか編	ヒョーロン・パブリッシャーズ	2007 年
教	歯内治療学 4 版	中村洋ほか編著	医歯薬出版	2012 年
推	歯内療法失敗回避のためのポイント 47:なぜ痛がるのか、なぜ治らないのか	高橋慶壮 著	クインテッセンス出版	2008 年
教	臨床歯周病学 2 版	吉江弘正ほか編	医歯薬出版	2013 年
教	ザ・ペリオドントロジー 2 版	和泉雄一ほか編	永末書店	2014 年
参	歯周病学用語集 2 版	日本歯周病学会 編	医歯薬出版	2013 年
推	失敗しない歯周外科:キュレタージから再生療法まで	小方頼昌、國松和司 著	クインテッセンス出版	2007 年
推	コーエン審美再建歯周外科カラーアトラス 原著第 3 版	E. S. コーエン 編、鴨井久一 監訳	西村書店	2009 年
教	口腔外科学 3 版	白砂兼光、古郷幹彦 編	医歯薬出版	2010 年
参	カラーアトラス サクシント口腔外科学 3 版	内山健志ほか編	学建書院	2011 年
参	イラストでみる口腔外科手術 第 1 巻	日本口腔外科学会 編	クインテッセンス出版	2010 年
推	口腔外科学 5 版	工藤逸郎 監修	学建書院	2016 年
推	標準口腔外科学 4 版	野間弘康、瀬戸皖一 編	医学書院	2015 年
推	最新口腔外科学 総論・各論 4 版 全 2 巻	榎本昭二ほか編	医歯薬出版	1999 年

成績評価方法

<p>講義 (65 点以上で合格) : 中間筆記試験、コース最終筆記試験、口頭試問の総合評価。DESS 演習結果は講義成績に含む。</p> <p>実習 (65 点以上で合格) : 実習 (態度、知識、技能) 評価、中間実習試験、コース最終実習試験の総合評価 講義と実習が、それぞれ合格した場合に合格とする。</p> <p>備考 本コースの実習 : すべての実習に出席し、すべての提出物を提出し、検印を受けることを必須とする。 実習に対する知識 (実習内容を理解することができる)、技術 (実習内容に則した手技ができる)、積極性 (実習意欲があり積極的に行動することができる)、礼節 (礼儀正しい話し方ができ責任ある行動ができる) を評価対象とする。 講義・実習 : 講義、実習ともに欠席、遅刻に応じて減点する。 再試は原則として各領域 65 点以上を合格とする。</p>

授業に使用する機械・器具と使用目的

[TxAD]

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
外科録画システム・オペ録	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例の録画、学生へのプレゼンテーション用
デジタルハイビジョン液晶モニター一式	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例の解説用
ノートパソコン・一式	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義プレゼンテーション用
液晶ディスプレイ	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義プレゼンテーション用 症例提示用
液晶プロジェクター	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	学生への講義及びケースプレゼンテーション用
ボート型テーブル	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	学生指導及びケースプレゼンテーション用
デスクトップパソコン	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
デスクトップパソコン	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
ノートパソコン・レッツノートプレミアムエディション	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
拡大鏡・マイクロアジャスタブルTTLルーペⅡ2.5倍	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習時の指導用
ロクラクⅡ Limitedスーパー・シルバー	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習時の指導用
双眼ルーペ・フリップアップタイプ	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習時の指導用
カラープリンター	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
汎用歯科用照明器・MiCDルーペライト一式	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習時の指導用
技工用エンジン・アルチメイトXL トルクセット	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習時の指導用
ノートパソコン	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
ノートパソコン	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
デスクトップパソコン	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
口腔内撮影用カメラ一式	1	視聴覚用機器	症例提示用資料作成
ミニコピア	1	視聴覚用機器	症例提示用資料作成
ノートパソコン	1	視聴覚用機器	講義資料・スライドの作成
ノートパソコン・VAIO一式	1	視聴覚用機器	講義資料・スライドの作成
デスクトップパソコン	1	基礎実習用機器	講義資料・スライドの作成

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的	
一眼レフデジタルカメラ	D3100	1	視聴覚用機器	症例写真の撮影
ビデオカメラ一式	GZ-E265	1	視聴覚用機器	講義・実習のための映像撮影
デジタルカメラ	EOS M	1	視聴覚用機器	症例写真の撮影用
レーザープリンター	LP-S7100	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
ソニックテクノ 歯科用デジタルカメラ	DC17-PRO	1	基礎実習・研究用機器 臨床実習用機器	講義・実習時の資料作成用
ノートパソコン	PV83228HNMS	1	基礎実習・研究用機器 臨床実習用機器	講義・実習時の資料作成用
キャビトンセレクト SPS	667-127	6	基礎実習専用機器	基礎実習におけるデモとして使用
ノートパソコン・dynabook	T75/RG PT75RGPCHA	1	視聴覚用機器	講義および症例プレゼンテーションに使用
ノートパソコン・MacBookPro	MGXA2JA	1	視聴覚用機器	実習、講義の資料提示用
デスクトップパソコン・iMac27 一式	Retina5K Z0QX Academic	1	視聴覚用機器	実習、講義の資料提示用
ノートパソコン・dynabook 一式	PR73PBP-SHA	1	視聴覚用機器	実習、講義の資料提示用
両袖机	LE-157D-33	1	視聴覚用機器	実習、講義の資料の作成
27型液晶モニター	LCDRDT271XBP	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成・提示用
ノートパソコンMacBook Air	MJVE2JA	1	視聴覚用機器	講義・実習の資料作成・提示用
オープン保管庫	L5-G210EW4	3	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料保存
プレゼンテーションマウス	ELAMGU91	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
メディカルビデオレコーダー	UR-4MD	1	視聴覚用機器	実際の手術術式の供覧
デスクトップパソコン・27インチ iMac Retina 5Kディスプレイ 一式	ZOSC Academic	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製
ノートパソコン 一式	PC-NS150CA	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
ノートパソコン	CFSZ5HDKRP	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
CEチェア RXタイプ	CE68RXP794	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製
Macmini CoreI5	MGEQ2JA(SSS)	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製
一眼レフカメラ	EOS80D(SSS)	1	視聴覚用機器	実際の症例の供覧
マクロリングライト	MR14EX2	1	視聴覚用機器	実際の症例の供覧

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
窓用エアコン	CWA1816	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製